

聖霊降臨後第二主日

特定二五

全能の神よ、み子イエス・キリストは、小さい者のために行うことはわたしのために行うことになる、と教えられました。すべての人の僕となり、わたしたちのために命を捨て、死なれたみ子のように、わたしたちにも隣り人の僕となる心をお与えください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はイザヤ書第五十九章九節から」

- 9 それゆえ、正義はわたしたちを遠く離れた恵みの業はわたしたちに追いつかない。わたしたちは光を望んだが、見よ、闇に閉ざされ輝きを望んだが、暗黒の中を歩いている。
- 10 盲人のように壁を手探りし目をもたない人のように手探りする。真昼にも夕暮れ時のようにつまずき死人のように暗闇に包まれる。
- 11 わたしたちは皆、熊のようになり鳩のような声を立てる。正義を望んだが、それはなかった。救いを望んだが、わたしたちを遠く去った。
- 12 御前に、わたしたちの背きの罪は重くわたしたち自身の罪が不利な証言をする。背きの罪はわたしたちと共にあり
- 13 主に対して偽り背きわたしたちの神から離れ去り
- 14 こうして、正義は退き、恵みの業は遠くに立つ。まことは広場でよるめき
- 15 まことは失われ、悪を避ける者も奪い去られる。主は正義の行われていないことを見られた。それは主の御目に悪と映った。

16 主は人ひとりいないのを見
執り成す人がいないのを驚かれた。主の救いは主の御腕に
より

主を支えるのは主の恵みの御業。

17 主は恵みの御業を鎧としてまとい
救いを兜としてかぶり、報復を衣としてまとい

熱情を上着として身を包まれた。

18 主は人の業に従って報い
刃向かう者の仇に憤りを表し

敵に報い、島々に報いを返される。

19 西では主の御名を畏れ

東では主の栄光を畏れる。主は激しい流れのように臨み
主の霊がその上を吹く。

朗読者

「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第十三編

1 主よ、あなたはいつまでわたしをお忘れになるのですか

= とこしえにみ顔を隠されるのですか

2 いつまでわたしは悩み苦しみ、心に痛手を受け = い

つまで敵は勝ち誇るのですか

3 わたしの神、主よ、顧みてわたしにこたえ = 死の眠
りに就かないように、目に光を与えてください

4 「勝利はわたしのもの」と敵に言わせず = わたしが倒
れて敵が喜ばないようにしてください

5 あなたの慈しみに寄り頼み = わたしは心からあなた
の救いを喜ぶ

6 主をたたえて歌おう = 神は豊かに恵みを注がれた

使徒書

朗読者 「使徒書はヘブライ人への手紙第五章十二節から」

12 実際、あなたがたは今ではもう教師となつてゐるはずな
のに、再びだれかに神の言葉の初歩を教へてもらわねばな
らず、また、固い食物の代わりに、乳を必要とする始末だ
からです。13 乳を飲んでゐる者はだれでも、幼子ですから、義
の言葉を理解できません。14 固い食物は、善悪を見分ける
感覚を経験によつて訓練された、一人前の大人のためのもの
です。6・1 だからわたしたちは、キリストの教えの初歩
を離れて、成熟を目指して進みましょう。

9 しかし、愛する人たちが、こんなふうには話してはいても、
わたしたちはあなたがたについて、もっと良いこと、救いにか
かわることがあると確信しています。10 神は不義な方で

はないので、あなたがたの働きや、あなたがたが聖なる者たちに以前も今も仕えることによつて、神の名のために示したあの愛をお忘れになるようなことはありません。11 わたしたちは、あなたがたのおのが最後まで希望を持ち続けるために、同じ熱心さを示してもらいたいと思います。12 あなたがたが怠け者とならず、信仰と忍耐によつて、約束されたものを受け継ぐ人たちを見做う者となつてほしいのです。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マルコによる福音書第十章 四六節以下に記された主イエス・キリストの福音。 主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

46 一行はエリコの町に着いた。イエスが弟子たちや大勢の

群衆と一緒に、エリコを出て行こうとされたとき、ティマイの子で、バルティマイという盲人の物乞いが道端に座っていた。47 ナザレのイエスだと聞くと、叫んで、「ダビデの子イエスよ、わたしを憐れんでください」と言い始めた。48 多くの人々が叱りつけて黙らせようとしたが、彼はますます、「ダビデの子よ、わたしを憐れんでください」と叫び続けた。49 イエスは立ち止まって、「あの男を呼んで来なさい」と言われた。人々は盲人を呼んで言った。「安心しなさい。立ちなさい。お呼びだ。」50 盲人は上着を脱ぎ捨て、躍り上がつてイエスのところに来た。51 イエスは、「何をしてほしいのか」と言われた。盲人は、「先生、目が見えるようになりたいのです」と言った。52 そこで、イエスは言われた。「行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」盲人は、すぐ見えるようになり、なお道を進まれるイエスに従った。

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」